

目次

1. ISM 非製造業景況指数
2. ISM 製造業景況指数
3. 卸売在庫・企業在庫
4. 景気先行指数
5. 建設支出
6. 小売売上高
7. 鉱工業生産
8. 個人消費支出 (PCE)
9. 個人所得・個人支出
10. シカゴ購買部協会景気指数
11. 失業率 [=雇用統計]
12. GDP 国内総生産
13. 住宅着工件数
14. 消費者信頼感指数
15. 消費者物価指数 (CPI)
16. 新築住宅販売件数
17. 生産者物価指数 (PPI)
18. 製造業受注指数
19. 設備稼働率
20. 耐久財受注
21. 中古住宅販売件数
22. TICS (対米証券投資額)
23. NY 連銀製造業景気指数
24. 非農業部門雇用者数 (非農業就業者数) [=雇用統計]
25. フィラデルフィア連銀景況感
26. PCE (個人消費支出) コア・デフレーター
27. 貿易収支
28. ミシガン大消費者信頼感指数
29. 輸入物価指数
30. 労働生産性指数

23. NY 連銀製造業景気指数

毎月15日、夏時間は日本の21:30に発表

ニューヨーク地区に限った製造業の前月分の景況感を指標化したもの。

フィラデルフィア連銀指数、ISM製造業景気指数との相関が高いとされています。

企業活動指数の注目度が高いですが、

仕入れ単価指数や、販売価格指数も注目されます。

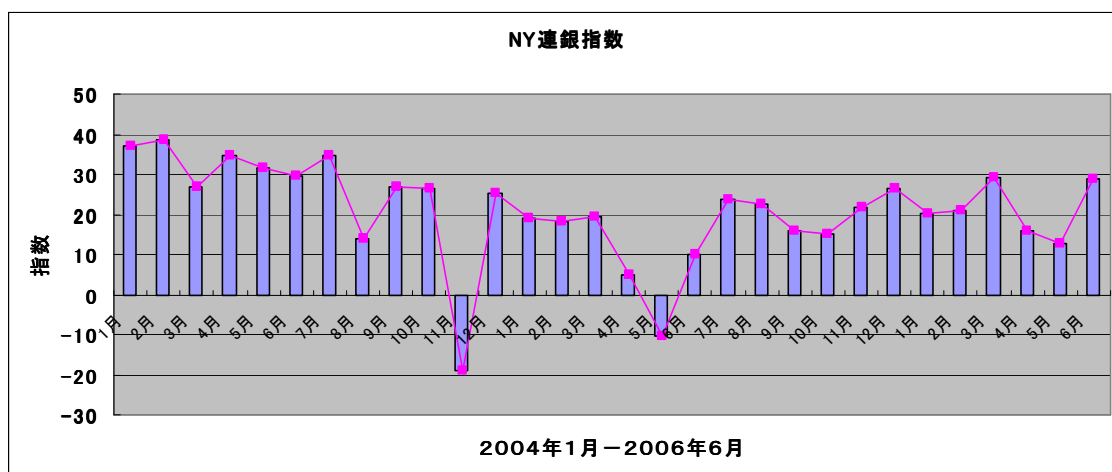
NY 連銀製造業景況指数は、2002年4月に誕生した比較的新しい経済指標です。

歴史のあるフィラデルフィア連銀製造業景況指数（第三木曜日発表）が重要視される傾向にありますが、フィラデルフィア連銀製造業景況指数より時期的に先行して発表されるため、製造業の景況を計るというよりも、フィラデルフィア連銀製造業景況指数を予測するための指標として使われる傾向にあります。

また米金融政策を決定する上で重要視されている ISM 製造業景気指数（毎月第一営業日発表）の先行指数としても注目されています。

以下、景気の読み方を、例で示します。

- ・毎月15日 [=5月15日(月)] に、
前月分 [=4月分] の NY 連銀製造業景況指数で大まかな方向性を予測し、
- ・第三木曜日 [=5月18日(木)] に、
前月分 [=4月分] フィラデルフィア連銀製造業景況指数で認識を確認し、
- ・翌月第一営業日 [=6月1日(木)] に、
当月 [=5月] の ISM 製造業景気指数で実際の景況感を確認する
という感じです。



		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
NY連銀指数	2004	37.07	38.75	26.76	34.89	31.49	29.73	34.69	14.08	26.97	26.62	-19.06	25.33
	2005	19.02	18.06	19.3	5.09	-10.36	10.18	23.61	22.61	16.01	15.02	21.88	26.28
	2006	20.12	21.02	29.03	15.81	12.9	29						